

2011年11月25日

お客様各位

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
投資信託本部

「パインブリッジ・コモディティファンド」、
(愛称：ネイチャーメイド) に組入れを行っている商品指数連動債について

平素は弊社ファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドで実質的に保有しております、ノルウェー輸出金融公社 (Eksportfinans ASA) を発行体とする商品指数連動債に関して、11月22日付のムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク (以下、「ムーディーズ」) に続き、11月25日付でスタンダード&プアーズ・レーティングス・サービスズ (以下、「S&P」) も格付けを引き下げたことに伴い、当ファンドの現状、および今後の対応方針等につきまして、以下にご報告させていただきます。

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 商品指数連動債の保有について

当ファンドのマザーファンドでは、本日現在、以下の商品指数連動債を保有しています。

＜マザーファンドで保有している商品指数連動債 (11月25日現在) ＞

| 発行体 | 発行日 | 償還日 | クーポン (%) | 格付け | | 組入比率* (%) |
|--|------------|------------|----------|------|--------|-----------|
| | | | | S&P | ムーディーズ | |
| AB Svensk Exportkredit (スウェーデン輸出信用銀行) | 2011/07/20 | 2013/01/22 | 0.01 | AA+ | Aa1 | 54.5 |
| Eksportfinans ASA (ノルウェー輸出金融公社) | 2010/10/26 | 2012/04/27 | 0.01 | BBB+ | Ba1 | 44.3 |

*組入比率は11月24日現在となります。組入有価証券の純資産総額に対する時価総額の比率です。

2. 実質的に組み入れている商品指数連動債の発行体の格下げについて

ノルウェー輸出金融公社が行ってきた政府保証付き貸付業務を、2012年7月1日以前にノルウェー政府が一括して管理するシステムに移行すると発表したことを受けて、ノルウェー輸出金融公社が独占的地位にあったノルウェー国内の輸出金融業界に対する信用供与という同社のビジネスモデルがその後は成立しなくなるという考えを背景に、同社の格付けは、11月22日付でムーディーズより引き下げられたのに続き、11月25日付でS&Pからも引き下げが行われました。

＜ノルウェー輸出金融公社の発行体格付け状況 (11月25日現在) ＞

| ムーディーズ (11月22日付) | | S&P (11月25日付) | |
|------------------|-----|---------------|--------|
| 変更前 | 変更後 | 変更前 | 変更後 |
| Aa3 | Ba1 | AA | BBB+ ※ |

※ なお、S&Pの短期外貨建/自貨建発行体格付けは「A-1+」から「A-2」に引き下げられましたが、引き続きA格相当以上となっています。

3. 今後の投資方針

当ファンドでは、原則として A 格相当以上の格付けを有する信用度の高い商品指数連動債を組入れることを運用の基本方針としておりますが、当ファンドが実質的に投資しておりますノルウェー輸出金融公社の商品指数連動債はその償還日が 2012 年 4 月 27 日と残り約 5 ヶ月間であり、また、S&P は短期発行体格付けを A 格相当に維持しています。こうした状況を踏まえ当社としましては、同公社の債務履行能力は当該商品指数連動債の満期償還に向けて引き続き十分に高いと判断し、現時点においては同銘柄の保有を継続する方針です。ただし、今後、更なる格下げの可能性などが予見される際には、発行体の入替えを検討することも視野に入れながら、引き続き慎重なスタンスで運用を行っていく所存です。

なお、当該商品指数連動債の時価の取得および流動性の確保につきましても、現時点におきましては特段の問題は発生しておりません。

以 上

リスクおよび留意点

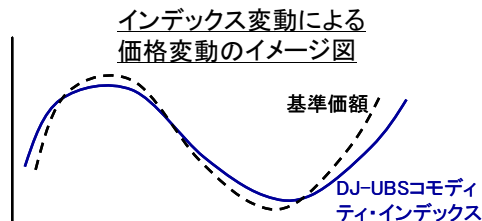
当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券を通じて、DJ-UBSコモディティ・インデックスの騰落率に償還価額等が連動する商品指数連動債など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替変動リスクもあります。)に投資します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これら運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属しますので、お申込みにあたりましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込みください。当ファンドの有する主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

当ファンドの主要投資対象である米国ドル建ての商品指数連動債は、DJ-UBSコモディティ・インデックスの騰落率に償還価額等が概ね連動しますので、ファンドの基準価額はDJ-UBSコモディティ・インデックスの変動の影響を受けます。これにより、当ファンドの基準価額が変動し、投資元本を割り込むことがあります。

商品市況リスク

DJ-UBSコモディティ・インデックスは様々な商品市況の価格変動を表すインデックスであり、インデックスを構成するそれぞれの商品の需給関係や為替、金利の変化など様々な要因で大きく変動します。また、それぞれの商品の需給は景気、環境、天候、農業生産、貿易動向、疾病、伝染病、労働問題、資源開発、技術発展、政府の規制・介入、生産者や企業の政策、投機家の動向など様々な要因で変動します。これにより、当ファンドの基準価額が変動し、投資元本を割り込むことがあります。



※上記はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではなく、将来の成果をお約束するものではありません。また、実際の基準価額やインデックスの動きを示唆するものではありません。

為替変動リスク

当ファンドは米国ドル建ての商品指数連動債を主要投資対象とし、原則として為替ヘッジを行わないため為替変動リスクを伴います。外国為替相場は、金利動向、政治・経済情勢、需給その他の様々な要因により変動します。この影響を受け外貨建て資産の価格が変動し、基準価額が下落することがあります。一般に、円安/米国ドル高は基準価額の上昇要因に、円高/米国ドル安は基準価額の下落要因となります。



※上記はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

信用リスク

組入る有価証券等の発行体および取引の相手先の倒産や財務状況の悪化等の理由による価格の下落、利息・配当・償還金の支払不能または債務不履行(デフォルト)の影響を受け、基準価額が下落することがあります。

金利変動リスク

金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に、金利が上昇した場合には債券価格は下落し、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

流動性リスク

組入る有価証券等を売買しようとする場合に、当該有価証券等の需給状況により希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け基準価額が下落する要因になることがあります。

※インデックスに関する留意点

当ファンドは、DJ-UBSコモディティ・インデックスの騰落率に償還価額等が連動する米国ドル建ての商品指数連動債を、原則として高位に組入れて運用しますが、ファンドの基準価額の騰落率とDJ-UBSコモディティ・インデックスを円換算したものの騰落率は必ずしも一致しません。この要因は、主として、ファンドの流動性を確保するためにファンドの一部を短期金融資産に投資すること、資金の流出入から実際に商品指数連動債を売買するためのタイミングのずれ、商品指数連動債の売買・評価価格と指数とのずれ、ならびに売買コストや信託報酬等の費用を負担すること等によるものです。またファンドの投資成果がDJ-UBSコモディティ・インデックスを円換算したものと連動または上回ることを保証するものではありません。

※収益分配金に関する留意点

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて行う場合があります。したがって、収益分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。また、投資者の個別元本の状況によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。なお、収益分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金の支払いは純資産総額の減少につながり、基準価額の下落要因となります。計算期間中の運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

お申込みメモ

- 信託設定日 2006年2月23日(木)
- 信託期間 無期限
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から当該基準価額の0.3%の信託財産留保額を控除した額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします
- 申込受付中止日 ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日、もしくはDJ-UBSコモディティ・インデックスの算出・公表されない場合
- 収益分配 毎月10日の決算日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。
 <分配金受取りコース>
 決算日から起算して5営業日までにお支払いします。
 <分配金再投資コース>
 税金を差引いた後、無手数料で再投資されます。

※詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

投資信託には、ご購入・ご換金時に直接的にご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■購入時に直接ご負担いただく費用 ●購入時手数料: 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に3.15%(税抜3.0%)の率を乗じて得た額を上限として、販売会社が定めるものとします。 ■換金時に直接ご負担いただく費用 ●換金時手数料: かかりません。 ●信託財産留保額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。 | <ul style="list-style-type: none"> ■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 ●運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に年1.26%(税抜年1.2%)の率を乗じて得た額とします。 ●監査報酬: 上記運用管理費用の中に含まれています。 ●その他費用: 有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の保管費用等(その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。) |
|---|---|

※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。「投資信託説明書(交付目論見書)」は、販売会社の本・支店等にご用意しています。
- 投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社: パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第307号
 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 販売会社: 委託会社の指定する金融商品取引業者および登録金融機関

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

<http://www.pinebridge.co.jp/>

TEL: 03-5208-5858 (9:00~17:00、土日・祝休日除く)